

# ヴィクセル型取引ネットワークにおける エッジワース競争の分析

星野良明

(香川大学経済学部)

石川竜一郎

(筑波大学システム情報工学研究科)

山崎 昭

(明星大学経済学部・大学院経済学研究科)

2011年4月

## 要旨

本稿の目的は、ヴィクセルの三角形型のモデルを用いて、資産や財の取引移転にかかわる競争が、いかなる資産や財の移転に結実するかを分析することである。

第2節において、資産あるいは財の移転（トランスファー）を明示的に示す形の基本形を提示して、これを本稿における基本的トランスファー・モデルとよぶ。基本的トランスファー・モデルは、異なる3種類の資産あるいは財と、異なる3人の取引主体から構成される。各取引主体は一般均衡モデルにおける標準的な経済構成員と同様に、効用関数と初期保有ベクトルによって表現される。基本的トランスファー・モデルにおいては、異なる主体間での取引に関する競争は極めて限定的であることから、競争から生まれてくるトランスファーの結果は、例えば取引主体間の交渉力というようなモデル外の多くの要因に依存する。そこで続く第3節以降では、順次、各取引主体の競争相手として、異なる3人の主体とそれぞれ全く同じ特徴を持つ「コピー」を増やすときに、取引主体間の競争が最終的なトランスファーの結果にどのような影響を与えるかをコア概念を用いて検証する。

本稿においては、特徴ある経済主体の具体例を用いて分析を進めることから、取引主体間の競争がトランスファーの結果に及ぼす影響を具体的な形で示すことを目標としている。